第３回健幸おおの２１策定委員会

日時）令和８年１０月１５日（木）午後７時～午後８時
場所）結とぴあ　３０１号室

１　開会

２　会長あいさつ
　会長：鳥山委員（大野市医師会）

３　議事
（１）第５次健幸おおの２１（素案）について　　【資料１～４】
　○事務局：資料１、２に基づき説明（素案第４章の項目について）
【主な意見等】
・４７ページの「地域・関係団体・学校における取組」のところについて、商工会議所が、高校生を主体に、２０歳未満の飲酒防止キャンペーンを実施しているため、追加してほしい。
・男性の喫煙率が高い。禁煙率を高めるために、もう少しそのあたりを強調した方がいいのではないか。

　○事務局：資料３に基づき説明（目標指標等について）
【主な意見等】
・「⑤歯・口腔の健康」の「歯科健診受診割合を増やす」について、設問の仕方によって答え方が人によって変わってくると思うため、設問をうまく考えてほしい。
・「う歯（虫歯）がない３歳児の割合を増やす」の目標を「増加傾向」としているが、どのような意味か。
　⇒国の目標が９０％であり、既に突破しているが、今後の生活習慣としても非常に大事な指標だと考える。「増加傾向」とは、より良くなるようにするという目標である。
・「③たばこ・アルコール」の「成人の喫煙率を下げる」の目標値は達成できないと思う。２０～２５％に設定するのが現実的ではないか。
・「⑥健康管理」の「大腸がん検診精密検査受診率を増やす」について、市内では大腸がん精密検査実施医療機関が少ないため、市外の医療機関受診への負担感から受診率が低いと考える。受診率を増やすのはかなり難しいと思う。
　⇒受診するか否かは最終的にはその人の判断であるが、受けていない人に電話し、大切であることを周知していきたいと思っている。

・「④休養・こころの健康」の「睡眠で休養がとれている人の増加」と「睡眠時間が十分に確保できている人の増加」は同じことではないか。

⇒「睡眠で休養がとれている人の増加」は睡眠の質に注目したもので、「睡眠時間が十分に確保できている人の増加」は時間（量的なもの）に注目したものである。量と質の両方を確保することが大切と言われているため、その両面から取り組みたく目標指数を２つ設けている。

・第４次では目標が「以上」「以下」となっているが、今回の第５次はそれがない。何か意味があるのか。

⇒今回は基準だけ設けて「以上」「以下」は省いている。付け加えた方が見やすいのであれば、付け加える。

○事務局：資料４に基づき説明（変更点と重点推進項目について）

【主な意見等】

・「④休養・こころの健康」の目標指標に「最近１ヶ月でストレスを感じた人を減らす」とあるが、これは個人によって感じ方が違うが、現在のアンケートの聞き方で正確なものが出てくるのか。

⇒今後、実態調査をしていく際には、詳細なアンケート項目にて状況を把握したいと思っている。

・オーバードーズについて、計画では触れないのか。

⇒国の「健康日本２１」でも指標にはなっていない。しかし、現在問題になっており、今後も問題になってくるものだと思うため、必要に応じて取り入れられるといいと思う。

４　閉会